



あのとときの常呂・写真館

VOL 110

(1967年)

昭和42年10月10日

第2回体育の日・歩け歩け運動

▶「歩け歩け運動」は、記録に残っている限りでは、昭和42年度から平成13年度まで長く続いた誰もが参加できる教室でした。●以下の写真は、第2回体育の日の「歩け歩け運動」です。「広報ところ」によると、教育委員会と体育協会が共催し、常呂小学校グラウンドと常呂高校グラウンドに分かれ、常呂高校はソフトボール大会、常呂小学校が「歩け歩け運動」のスタート、ゴール会場でした。●この日、準備体操・開会式の後、午前10時から「歩け歩け運動」が始まり、常呂小学校—朝日橋—梅田温泉を往復する7kmのコースに約40人が参加し、健脚を競ったと綴っています。●この当時、「歩け歩け運動」は体育の日に行われる行事であり、かつ競技の一つと位置付けられ、翌43年の体育の日では午前9時から常呂小学校を出発し、大島地区農道を一周する約6kmのコースに30人が参加しています。●この「歩け歩け運動」は町民の体力づくりの一環として行われ、昭和45年度からは5月から9月まで毎月10日に中央公民館前に集合して出発。町民ピクニックにも参加するようになりました。●昭和46年には自由参加方式の行事として、5月から9月までは毎月第1、3日曜日に午前6時25分集合、ラジオ体操の後コースを歩き、体育の日に最終回を迎える形式が整います。





*上・前ページ：常呂小学校グラウンドで出発前のラジオ体操
*下：「第2回体育の日」記念のタオルを頭に巻いています





*以下4枚は、昭和45年の「歩け歩け運動」の写真です。

*歩け歩け運動」は、今風にいうなら「自由参加形式のウォーキング会」。

*平成3年の広報には、4 kmと6 kmの2コースがあり、歩いた距離に応じたスタンプを押す地図を参加者に渡し、年間1回も休まず親子で参加した人が累計200 km歩き、ふるさとの苦小牧まで歩きたい、という記述があります。複数のコース設定、歩いた記録の証明などがいつから始まったのかは社会教育関係の資料では見つかりませんが、長く続けられた仕組みだったことがうかがえます。

上：公民館前を出発したところ



*上：朝日橋を渡っています



上：弁天の通称「旧網走坂」を下っているところ。中央奥に朝日橋が見えます
下：本通りから網走側に向かって常呂橋を渡っているところ

